

## シリーズ「放課後子ども教室推進事業」

(初中教育ニュース (初等中等教育局メールマガジン掲載))

### 【第30回】

元気いっぱい！仲間いっぱい！“黒野っ子ひろば”

岐阜県岐阜市立黒野小学校長 水野良彦

平成17年度から始まった“黒野っ子ひろば”には、毎年100名を超える子どもたちが参加しています。“黒野っ子ひろば”は、青少年育成市民会議の地域指導員の方を中心に、多くの地域ボランティアの方々に支えられた活動の場です。

毎週月曜日、15時15分一斉下校になると、子どもたちは体育館に集まってきます。受付で名簿にチェックして自分の名札を受け取ります。地区ごとに指定された場所にランドセルを置いて活動が始まります。しっぽとりゲームやドッチビーなど、体育館を元気いっぱい走り回って活動したり、シャボン玉を飛ばしたり、学年やクラスを超えた仲間といっしょになって遊びます。また、季節の行事に合わせた活動も工夫されています。七夕には笹飾り作り、正月前には花餅作り、夏休みにはスイカ割りなど、子どもたちはとても楽しみにしています。

岐阜森林管理署から、木の枝や除伐木の木片を分けてもらえた時には、木の昆虫や動物を作りました。見本の通り作るのかと思っていると、それぞれ自分の気に入った材料を組み合わせ、思い思いの作品を作りました。そして、みんなに見せて自慢していました。校区の文化祭に出品し、地域のみなさんにも見ていただきました。

市民会議の会長さんは、「なかなか言うことを聞かない子もいます。そんな時は遠慮せず厳しく叱ります。でも、よく叱る子の方が、私の姿を見るとにこにこ笑って手を振ってくれたり、あいさつしてくれたりします。それぞれの役割で子どもたちを育てていきたいと思っています。」と言われます。活動の計画、便りの配布、当日の指導や帰りの安全確保など、地域ボランティアの方々の事業の実施は本当に大変です。しかし、「来週も黒野っ子ある？」「今度はどんな遊び？」と、子どもたちがとても楽しみにしていることを、やりがいにして下さっています。

これからも子どもたちには、遊びを通して、仲間や地域の方との関わりを深めていってほしいと思います。

(初中教育ニュース (初等中等教育局メールマガジン) 第127号に掲載)